

2022 年 12 月 15 日

各 位

J X 石油開発株式会社

ベトナムでの権益取得 30 周年記念式典を開催

当社（社長：中原 俊也）が 100%出資する日本ベトナム石油株式会社（社長：近藤 秀夫、以下、「日本ベトナム石油」といいます。）は、2022 年 10 月に同社が操業するベトナム沖 15-2 鉱区の PSC（生産分与契約）締結から 30 周年を迎えたことを記念して、ベトナム国内外から多くの関係者を招待し 12 月 9 日に同国ブンタウ市内のホテルにて記念式典を執り行いましたので、お知らせいたします。

本式典には、ベトナム首相府、ベトナム商工省、国営石油会社ペトロベトナム（以下、「PVN」といいます。）、PVEP（PVN 子会社）をはじめとする多くのベトナム政府要人や事業パートナーの方々など総勢約 330 名が参加しました。式典では、日本ベトナム石油スタッフによるダンスパフォーマンスや 30 周年を記念して制作した映像の上映などを行い、PVN 石油・ガス生産部 ヴ・ダオ・ミン部長やブンタウ市人民委員会ホアン・ヴ・タン委員長より祝辞を頂きました。

日本ベトナム石油は、1992 年 10 月にベトナム沖 15-2 鉱区の権益を取得、1994 年に試掘井第 1 号 RD-1X の掘削により原油の存在を確認し、1998 年 8 月にランドン油田、2008 年 8 月にはフンドン油田でそれぞれ原油の生産を開始いたしました。生産された原油はベトナム国内のみならず、日本をはじめアジア各国にも供給されており、累計原油生産量は 2.4 億バレル（1 バレル＝約 159 リットル）に達しております。

同社は、1992 年の権益取得以来、オペレーター＜注 1＞として安全・安定操業を継続し、2022 年には 19 年間連続休業災害ゼロを達成しております。

また、石油・ガス業界では世界初となる原油随伴ガスの回収・有効利用によるクリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism、CDM) の実施、ベトナム初となる HCG-EOR＜注 2＞技術の導入、また、CO₂-EOR のパイロットテストの実施などの様々な試みは、ベトナム政府からも高く評価されています。当社は今後も本事業を通じて蓄積した知見・経験を活用し、同鉱区の価値最大化に向け、引き続き努力して参ります。

＜注 1＞ オペレーター：鉱区におけるプロジェクトの計画立案および探鉱・開発・生産を行う操業主体

＜注 2＞ HCG-EOR：炭化水素ガス (hydrocarbon gas) の圧入による原油増進回収 (enhanced oil recovery) 技術

【日本ベトナム石油沿革】

- 1992 年 ペトロベトナムと PSC（生産分与契約）を締結
ホーチミン市内 Saigon Floating Hotel 内に最初の事業所を設立
- 1994 年 試掘井第 1 号 RD-1X により原油の存在を確認
- 1995 年 ブンタウ市内に新たな事業所を設立
- 1998 年 ランドン油田にて原油の生産開始
- 1999 年 ブンタウ市内 PetroVietnam Tower（現在の事業所）に移転
- 2006 年 原油随伴ガスの回収・有効利用によるクリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism、CDM) の実施
- 2008 年 同鉱区内フンドン油田にて原油の生産開始
- 2014 年 HCG-EOR 技術の導入
- 2022 年 PSC 締結 30 周年



関係者による鏡開き



PSC 締結 30 周年を祝う洋上プラットフォームのクルー



1998 年 8 月生産開始当時の様子



1995 年当時の日本ベトナム石油オフィス



現在の日本ベトナム石油オフィス（PetroVietnam Tower）